

シエ・モワにいったよ

平成十一年 一年女兒

十一月二十四日に、一年生みんなでシエモワにいきました。シエモワのおじいちゃんやおばあちゃんに、おどりとうたをはっぴょうをしました。

シエモワについて三がいにくと、おじいちゃんやおばあちゃんがいっぱいいて、びっくりしました。みんな車いすにのっていました。先生が

「シエモワにいるおじいちゃん、おばあちゃんは、びょうきをなおすためにがんばっているんだよ。」と、いったのをおもいだしました。わたしは、いっぱいけがをした人がいるんだなあ、とおもいました。

さいしよは男の子たちのおどりです。女の子は、よこにいて見ていました。わたしは、だんだんどきどきしてきました。ちゃんとおどれるかなあと、しんぱいになってきました。

男の子のおどりがおわって、つぎは女の子のばんです。

どきどきはとまらないけど、おじいちゃん、おばあちゃんたちが、いっしょうけんめいおどりを見てくれていたので、おどってよかったなあと思いました。

おどりのあと、うたを三つうたいました。かたむりと「ひのまる」と「たきび」です。うたっているとおじいちゃんたちもにこにこして、いっしょうにうたっているおばあちゃんもいました。

うたがおわって、あきひろくんと二人でいろんなおじいちゃんやおばあちゃんに、あくしゅをしにいきました。

「こんにちは。」と、いって手を出すとおばあちゃんも手を出してくれて、あくしゅしました。やわらくて、やさしそうな手でした。かおを見ると、にこにこわらっていて、とてもやさしそうなおばあちゃんでした。

「かわいいの。にんぎょうみたいだ。」といわれて、うれしくてわたしもにこにこしました。それから、べつのおばあちゃんに、

「こんにちは。」と、あくしゅにいくと、

「うんどう、いっぱいすれよ。」とやさしいこえでいわれ

ました。

それからもあくしゅにあって、ぜんぶで五人くらいのおばあちゃんや、おじいちゃんとあくしゅしました。みんなうれしそうでした。

あとで学校へかえてから、「ないっだおばあちゃんもいっけよ。」とだれかがいってました。わたしは見なかったけど、先生が、

「ないてたのは、みんながげんきをわけてあげたので、うれしかったからだよ。いいことしてきたね」といいました。わたしは、シエモワにあってとてもよかったなあ、とおもいました。

シエモワのおじいちゃん、おばあちゃんを見て、わたしは、じぶんのおじいちゃんやおばあちゃんのことをおもいだしました。どっちもおくにいるので、あまりあえません。とおくのおじいちゃん、おばあちゃんにも、げんきをわけてあげたいな、とおもいました。